

3. 発生予察情報の発表状況

種 類	発令年月日	対象作物	対象病害虫	情 報 の 内 容
子報第 1号	平成 2年 4月 2日	早期水稲	イネズゾウムシ ヒメビクカ 結葉枯病 マダロヨバイ 萎縮病 スクミンゴガイ	やや多 並 やや少 並 少 やや多
		麦類	さび病類 赤かび病 うどんこ病	やや少 並 やや多
		ばれいしょ	疫病 アブラムシ類	並 並
		きゅうり	べと病 うどんこ病 灰色かび病 菌核病 アブラムシ類 ミナキイロザミ オシゴコガネ	やや多 並 並 並 並 並 並
		トマト	疫病 灰色かび病 オシゴコガネ	やや少 並 やや多
		いちご	うどんこ病 灰色かび病 アブラムシ類 ハダニ類	並 並 並 並
		たまねぎ	べと病 白色疫病	並 並
		柑橘	そうか病 かいよう病 シロハダニ	並 並 やや多
子報第 2号	平成 2年 5月 1日	水稲	苗立枯病 ばか苗病 いもち病 イネズゾウムシ ヒメビクカ 結葉枯病 マダロヨバイ 萎縮病 スクミンゴガイ	並 並 並 やや多 並 並 並 少 やや多
		麦類	赤かび病 アブラムシ類	やや多 並
		ばれいしょ	疫病 アブラムシ類 ジユウキノコ ジヤク代ガ	多 並 並 並
		きゅうり	べと病 うどんこ病 灰色かび病 菌核病 アブラムシ類 ミナキイロザミ オシゴコガネ	並 並 並 並 並 やや少 並
		メロン	べと病 つる枯病 アブラムシ類	並 並 並

種 類	発令年月日	対象作物	対象病害虫	情 報 の 内 容
(予報第 2号)		すいか	つる枯病 炭そ病 アラム類 ハダニ類	並 並 並 並
		トマト	灰色かび病 ワシツボシタミ	並 並
		柑橘	そうか病 かいよう病 黒点病 ミカンハダニ チャノキアザミヤ 訪花害虫	並 並 並 やや多 やや多 やや多
		なし	黒斑病 黒星病	並 並
予報第 3号	平成 2年 6月 1日	水稻	いもち病 ばか苗病 イネズリウミ イネグシ ヒトビウカ 縮葉枯病 アサギロコバ 萎縮病 ヒノコカ トビイロカ スミシバガイ	並 並 やや多 並 並 並 並 やや少 並 並 やや多
		メロン	べと病 つる枯病 うどんこ病 斑点細菌病 アラム類	やや多 やや少 並 並 並
		すいか	炭そ病 つる枯病 アラム類 ハダニ類	並 やや少 並 並
		いちご (育苗床)	うどんこ病 炭そ病 アラム類 ハダニ類	並 並 並 並
		柑橘	そうか病 かいよう病 黒点病 ミカンハダニ アラム類 チャノキアザミヤ	やや多 並 並 やや多 やや多 やや多
		びわ	がんしゅ病 ナヒメカキ	やや多 並
		なし	黒斑病 黒星病	並 並
		ぶどう	黒とう病	並
		茶	炭そ病	並

種 類	発令年月日	対象作物	対象病害虫	情 報 の 内 容
子報第 4号	平成 2年 7月 3日	水稻	粟いもち病 穂いもち病 紋枯病 白葉枯病 ヒトビウカ 縞葉枯病 ヒトウカ トウカ アノカ 穂吸汁性カミシ	やや多 並 並 やや少 並 並 やや多 やや多 並 やや多
		いちご (育苗床)	うどんこ病 炭そ病 アブラムシ類 ハダニ類	並 並 並 並
		柑橘	かいよう病 黒点病 ミカンハダニ チャノコアザミガ	並 並 やや多 並
		びわ	がんしゅ病 オビシクイ	並 並
		なし	黒斑病 黒星病	並 並
子報第 5号	平成 2年 8月 1日	水稻	穂いもち病 紋枯病 白葉枯病 糊枯細菌病 縞葉枯病 ヒトウカ アノカ 穂吸汁性カミシ	並 やや多 並 やや多 並 やや多 並 やや多
		大豆	葉焼病 ハスモンク ウツバ類	並 やや多 並
		いちご (育苗床)	うどんこ病 炭そ病 アブラムシ類 ハダニ類	並 並 並 並
		柑橘	かいよう病 黒点病 ミカンハダニ チャノコアザミガ カミシ類	並 やや多 やや多 並 やや多
		茶	チャノコアザミガ チャノコヒメコバエ	やや多 並
子報第 6号	平成 2年 9月 4日	水稻	穂いもち病 紋枯病 白葉枯病 糊枯細菌病 ヒトウカ アノカ 穂吸汁性カミシ	やや少 やや多 やや少 やや多 やや多 並 やや多 (注意報第5号)
		大豆	葉焼病 べと病 ハスモンク カミシ類	やや少 やや多 やや多 (注意報第6号) 並
		いちご	うどんこ病 炭そ病 アブラムシ類 ハダニ類 ハスモンク	やや少 並 並 並 やや多

種 類	発令年月日	対象作物	対象病害虫	情 報 の 内 容
(予報第 6号)		柑橘	かいよう病 黒点病 チャ/キイロアザミカ	並 並 並
		茶	炭そ病 チャ/カネハチ チャ/ミドリヒメヨコバ カザ/ワザニ	やや少 やや多 並 並
予報第 7号	平成 2年10月 4日	水稻	トビイロカ	やや多
		大豆	ハシエン病 かみん類	やや多 (注意報第6号) やや多
		ばれいしょ	疫病 アブラムシ類 ニジュウケムシ類 ジャガイガ	並 並 並 並
		いちご	うどんこ病 アブラムシ類 ハダニ類 ハシエン病	並 並 やや少 やや多 (注意報第9号)
		はくさい	アブラムシ類 コガ ハシエン病	並 やや多 やや多 (注意報第9号)
		キャベツ	モンシロチョウ コガ ハシエン病	やや多 やや多 やや多 (注意報第9号)
		にんじん	黒葉枯病 うどんこ病	並 並
		柑橘	貯蔵病害 ミカンハダニ かみん類	並 並 やや多
予報第 8号	平成 2年11月 2日	麦類	黒穂病 斑葉病 シトビムシ類	並 並 やや多
		ばれいしょ	疫病 アブラムシ類 ジャガイガ ヨウモリ類	並 やや少 やや少 やや多
		はくさい	アブラムシ類 コガ モンシロチョウ類	並 並 並
		キャベツ	モンシロチョウ コガ モンシロチョウ類	やや少 並 並
		にんじん	黒葉枯病 うどんこ病	並 並
		いちご	うどんこ病 アブラムシ類 ハダニ類 ハシエン病	並 並 並 やや多
		柑橘	ミカンハダニ	並
予報第 9号	平成 2年12月 4日	きゅうり	べと病 うどんこ病 灰色かび病 ミナキイロアザミカ オシロイソウシ	やや少 並 並 やや少 並

種 類	発令年月日	対象作物	対象病害虫	情 報 の 内 容
(子報第 9号)		トマト	疫病 灰色かび病 ワジカガミ	やや少 並 やや少
		いちご	うどんこ病 灰色かび病 アラム類 ハダニ類 ハモトウ	並 並 並 並 並
		はくさい	白斑病 軟腐病 コガ	並 並 やや多
		キャベツ	黒腐病 コガ	並 やや多
		レタス	菌核病 斑点細菌病	やや少 やや少
		柑橘	ミカンハダニ	並
子報第10号	平成 2年12月25日	きゅうり	べと病 うどんこ病 灰色かび病 菌核病 アラム類 ミナモトガミカ ワジカガミ	並 やや多 並 並 並 やや少 やや少
		トマト	疫病 灰色かび病 ワジカガミ	並 並 やや少
		いちご	うどんこ病 灰色かび病 アラム類 ハダニ類	並 並 やや多 並
		はくさい	白斑病 コガ	並 並
		キャベツ	黒腐病 コガ	並 並
		レタス	菌核病 斑点細菌病	やや少 やや少
子報第11号	平成 2年 1月28日	きゅうり	斑点細菌病 べと病 うどんこ病 灰色かび病 菌核病 アラム類 ミナモトガミカ ワジカガミ	やや少 並 やや多 並 やや多 並 やや少 やや少
		トマト	疫病 灰色かび病 ワジカガミ	並 やや少 並
		いちご	うどんこ病 アラム類 ハダニ類	並 並 並
		キャベツ	コガ	並
		たまねぎ	白色疫病 べと病	やや多 並

種 類	発令年月日	対象作物	対象病害虫	情 報 の 内 容
(予報第11号)		レタス	菌核病 灰色かび病 斑点細菌病	並 並 やや少
予報第12号	平成 3年 3月 4日	変類	うどんこ病	やや多
		ばれいしょ	疫病	やや多
		きゅうり	斑点細菌病 べと病 うどんこ病 灰色かび病 菌核病 アブラムシ類 ミナキハダシ ワシカダシ	やや少 並 やや多 並 並 やや少 やや少 やや少
		トマト	疫病 灰色かび病 ワシカダシ	やや少 並 並
		いちご	うどんこ病 灰色かび病 アブラムシ類 ハダシ類	並 やや多 並 並
		キャベツ	コガ	並
		たまねぎ	白色疫病 べと病	並 やや多
		柑橘	かいよう病 ミカンダシ	並 並
		茶	カダシ	やや少

種 類	発令年月日	対象作物	対象病害虫	情 報 の 内 容
注意報第 1号	平成 2年 4月24日	ばれいしょ	疫病	1. 発生地域：県下全域 2. 発生時期：4月中旬以降 3. 発生程度：多 4. 根 掘： ① 初発は平年より早く、4月15日に愛野町、4月17日に県子察園で発生を認めた。 ② 県子察園での発病株率は4月17日4%、4月24日8%と急激に増加している。4月23日、島原半島では各地に発生が認められ、一部に多発園場も見られた。
注意報第 2号	平成 2年 5月21日	ハウスカン ナ キュウイフルツ モ 柿	カメムシ類	1. 発生地域：県下全域 2. 発生程度：多 3. 根 掘： ① 前年秋に発生が多く、暖冬に推移したため越冬量が多い。 ② 5月中旬現在、柑橘、キュウイ園等での生息量が多い。 ③ 子察灯での誘殺量が前年に比べ多い。
注意報第 3号	平成 2年 6月21日	茶	チャノカゲモハサ	1. 発生地域：県下全域 2. 発生程度：多 3. 根 掘： ① 子察灯及びフェロモントラップによる誘殺量が、第1世代、第2世代とも平年に比べて多い。 ② 一番茶残り葉における葉巻は例年極めて少ないが、本年は一部で葉巻被害がみられた。 ③ 第2世代発蛾最盛期は6月5半旬と予想される。
注意報第 4号	平成 2年 7月6日	水稻	ウンカ類 セジロウンカ トビイロウンカ	1. 発生地域：県下全域 2. 発生程度：やや多 3. 根 掘： ① 7月2～3日にセジロウンカの多飛来がみられた。主体はセジロウンカであるが、トビイロウンカの飛来量も多かった。 ② 7月4日の一斉調査の結果、県下全域に発生がみられ、1株当たり平均虫数は12.8頭と園場での成虫密度は高く1株当たり成虫数が30頭以上の園場も各地でみられた。
注意報第 5号	平成 2年 8月23日	水稻	斑点米カメムシ類	1. 発生地域：県下全域 2. 発生程度：やや多 3. 根 掘： ① 8月23日県子察園場（早生品種：8月21日出穂）では20回すくい取りで4.5頭と多い。 ② 8月上旬の巡回調査の結果、雑草地での生息量は20回すくいとりで平均14頭と多く、その後の生息量も多い。 ③ 早期水稻で斑点米の発生がみられた。

種 類	発令年月日	対象作物	対象病害虫	情 報 の 内 容
注意報第 6号	平成 2年 8月23日	大豆 かしょ さといも いちご レモン	ハモシコウ	<p>1. 発生地域：県下全域</p> <p>2. 発生時期：8月下旬以降</p> <p>3. 発生程度：多</p> <p>4. 根 拠：</p> <p>① 県子察圃場のフェロモントラップによる成虫誘殺量は平年に比べ、過去10年間で最も多い。</p> <p>② 県子察圃場における幼虫発生量は8月2半旬から増加がみられ、3半旬には白変葉が目だった。</p> <p>③ 8月5半旬の調査の結果、各地で白変葉がみられ、食害株率が100%に達する圃場もみられる。また幼虫生息量も多い。</p>
注意報第 7号	平成 2年 9月 4日	柑橘 かき なし フェウフルツ	かみん類	<p>1. 発生地域：県下全域</p> <p>2. 発生時期：9月以降</p> <p>3. 発生程度：多</p> <p>4. 根 拠：</p> <p>① 子察灯での誘殺量が前年に比べて多く、特にツヤアオカメムシの誘殺量が多い。</p> <p>② 8月下旬、早生温州圃場において飛来が認められている。8月下旬のヒノキ産果の成熟硬化に伴ない、果樹圃場の多飛来が考えられる。</p> <p>③ 気象予報によると、9月の気温は高く降水量は少ないと予想されている。</p>
注意報第 8号	平成 2年 9月 4日	柑橘	ミカンダニ	<p>1. 発生地域：県下全域</p> <p>2. 発生時期：9月以降</p> <p>3. 発生程度：多</p> <p>4. 根 拠：</p> <p>① 県子察圃場での無防除区における寄生葉率は、7月下旬71%（前年45%）、8月中旬89%（同9%）8月下旬80%（同11%）と盛夏期にもかかわらず高く推移した。</p> <p>② 8月下旬の巡回調査の結果、平均寄生葉率は25%（同11%）、発生圃場率は72%（同53%）と高かった。気象予報によると、9月の気温は高く、降水量は少ないと予想されており発生に好適である。</p>
注意報第 9号	平成 2年10月 4日	ばれいしょ 大豆 いちご キャベツ はくさい アスパラガス	ハモシコウ	<p>1. 発生地域：県下全域</p> <p>2. 発生時期：10月以降</p> <p>3. 発生程度：多</p> <p>4. 根 拠：</p> <p>① 県子察圃場のフェロモントラップによる成虫誘殺量は前年に比べきわめて多い。</p> <p>② 9月下旬の巡回調査の結果、いちごは食害発生圃場率9%（前年13%）平均食害株率21%（同0.5%）と高い。キャベツでは発生圃場率42%（同45%）、平均寄生株率4%（同6%）とやや高い。また、ばれいしょでは卵塊が多くみられる。はくさい、アスパラガスでも発生が多い。</p> <p>③ 大豆については、8月23日付け発生生子察注意報第6号、9月19日付け「</p>

種 類	発令年月日	対象作物	対象病害虫	情 報 の 内 容
				<p>大豆、野菜類のハスモンヨトウの防除について」で防除を呼びかけてきたが、依然として発生量は多く、被害の激しい圃場も多い。</p> <p>③ 10月1半旬現在、卵塊、ふ化幼虫も見られ、また隣接圃場への移動も見られることから今後も被害が続くものと予想される。</p> <p>④ 気象予報によると、10月の平均気温は平年より高く降水量、日照時間とも平年並の見込みである。</p>

特殊報第1号

平成2年5月1日

タバココナジラミ (*Bemisia tabaci* GENNADIUS) の発生について

1. 発生作物：ポインセチア
2. 確認年月日
 - 発生確認：平成2年2月8日
 - 種の同定：平成2年3月30日
3. 発生場所：佐世保市
4. 診断、同定

平成2年2月8日、佐世保市浦川内のポインセチアに寄生しているコナジラミを採集し、門司植物防疫所に同定依頼の結果、タバココナジラミであることが確認された。
5. 発生状況

本種は昭和22年に長崎県内のサツマイモ、ダイズ等への寄生が確認されたが、昭和29年以降、発生記録はない。

ポインセチア栽培ほ場を主に調査を行った。調査を行った佐世保市、諫早市、大村市、松浦市のうち佐世保市のポインセチアに多数寄生しているのを確認した。九州においては佐賀県、鹿児島県での発生が確認されている。
6. 形 態
 - 1) 成 虫

体長約0.8mmで翅は白く、体色は淡黄色である。オンシツコナジラミと比較するとやや小さく、体色は濃い。成虫でオンシツコナジラミと区別するのは容易でない。
 - 2) 4 齢幼虫 (蛹)

体長0.8mm～1.0mm、楕円形で背面がわずかに隆起している。体色は全体が淡黄色である。

20倍程度に拡大すれば4齢幼虫(蛹)の周辺部にトゲ状の分泌物がなく、分泌物があるオンシツコナジラミと区別できる。
7. 発生生態

卵、幼虫(1齢～3齢)、蛹(4齢幼虫)をへて成虫となる。詳細な生態は不明であるが、オンシツコナジラミとほぼ同様な生態と考えられる。

寄主範囲はきわめて広くポインセチア、ハイビスカス、キク、ダイズ、サツマイモ、タバコ、ナス、トマト、ウリ類等のほか多くの雑草に寄生する。
8. 被 害

作物への被害は吸汁による生育抑制と排泄物に発生するすす病による汚染である。また脱皮殻はよく目だつので外観を損なう。トマト黄化萎縮病やタバコ巻葉病を引き起こすウィルスを媒介することも確認されている。
9. 防除対策

本種対象の登録薬剤はないのでオンシツコナジラミ対象の薬剤散布により同時防除を行う。オンシツコナジラミに較べ薬剤に対する感受性が低く、防除効果は不十分とされている。このため幼虫寄生の多い葉を処分したり、栽培終了後に残査を焼却処分して次作を栽培するなど耕種的防除も併せて行う必要がある。